

目標達成計画

作成日: 2019年 10月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者、家族の意向を踏まえ、安心して納得した最期を迎えられるよう、また利用者、家族、職員の不安を無くすためにも、重度化した場合や看取りに関する研修が必要だが、実施ができていない。	ご本人やその家族の意思を尊重しつつ最期まで安らかに過ごせるようなケアを目指す。	・看取り介護に対する利用者家族、職員の意識調査を行う。(不安要因を知る) ・勉強会では、看取り介護に必要な知識、技術、家族に対する支援、などを段階的に進め実施する。	継続
2	35	年2回、夜間想定で火災時の避難訓練、消火、通報訓練などの合同訓練を実施しているが、今年度は消防署員の立ち合いがなかった。	・プロの目からのアドバイスを受ける。	合同訓練以外にGH内での訓練を独自に行う。 消防職員の立ち合いの調整を図る。 実施月を12月、6月と予定する。	8ヶ月
3	54	利用者が自室として、寛げるよう馴染み物を取り入れるほか、プライバシー保護のためにも、リハビリパンツ、パッド類の保管の工夫ができていない。	・居室としての空間に配慮する。 ・プライバシーを守る。	・馴染みの物の持ち込みについては再度家族への声かけを継続する。 ・基本、リハビリパンツ、パッド類の保管はクローゼット内としている。使用後の収納忘れがないように周知徹底を図った。	数日
4					ヶ月
5					ヶ月